MAN-122A　FBZO　2021年8月17日発行
MAN122A

LIXIL

アルミ手すりS型ワイド雨戸付

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

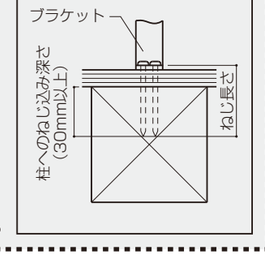
⚠警告…取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警告

●手すりの落下・転落防止のため、下記事項を必ずお守りください。
・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には使用しないでください。
・ブラケットと柱間にすき間が生じないように胴縁などを配置してください。
・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
・木製戸袋の場合は、必ず補助ポールを使用してください。木製戸袋に取付けると手すりが落下するおそれがあります。
・ブラケットは必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
・取付けねじの柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
・壁厚が30mm以上の場合は、別手配の厚壁用のねじを使用してください。
・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を、指定の数量使用してください。
・外壁のバカ穴は、柱まであけないでください。
・サイドガードは必ず取付けてください。
・躯体に下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、φ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
・手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。
・手すりにのったり足をかけたりしないでください。また重いものをのせないでください。

■柱へのねじ込み深さ



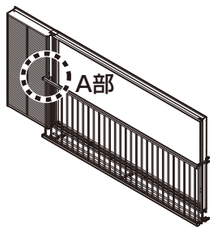
⚠注意

●ねじ部からの漏水防止のため、外壁材・躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんした後、ねじ止めしてください。

■取付け上のお願い

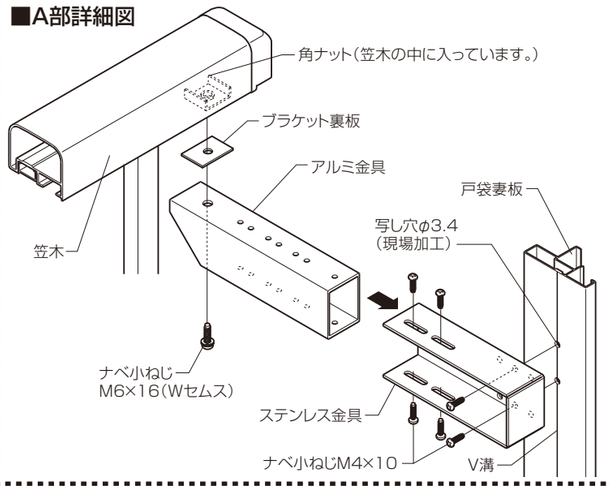
●手すり本体の組み立ては本体に同梱のMAA-297を参考に実施してください。

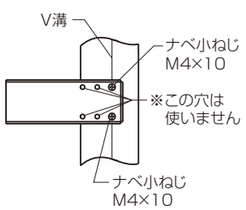
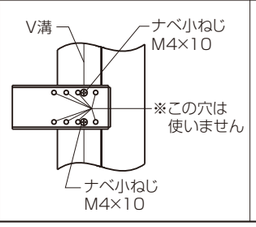
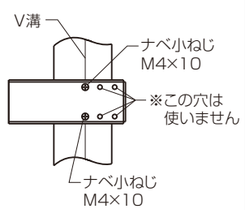
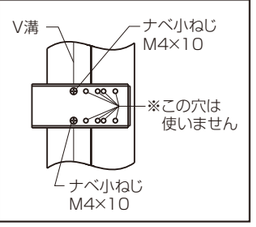
■鏡板取付の場合



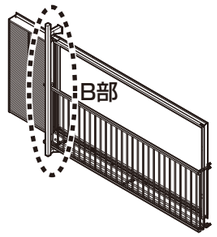
①手すりを戸袋に当て、取付け位置(高さ)を決めます。次に、ステンレス金具より戸袋に写し穴(φ3.4mm)をあけ、ねじ止めします。品種により固定位置が異なりますので、下表にしたがってステンレス金具を合わせます。
②アルミ金具をステンレス金具に差込み、ねじ止めします。

■A部詳細図



サーモス2-H·L·X·A デュオPG·SG、シンフォニーW/M 半外付		デュオPG·SG、シンフォニーW/M 外付	
2枚建て戸袋	4枚建て戸袋	2枚建て戸袋	4枚建て戸袋
			

■補助ポール使用の場合



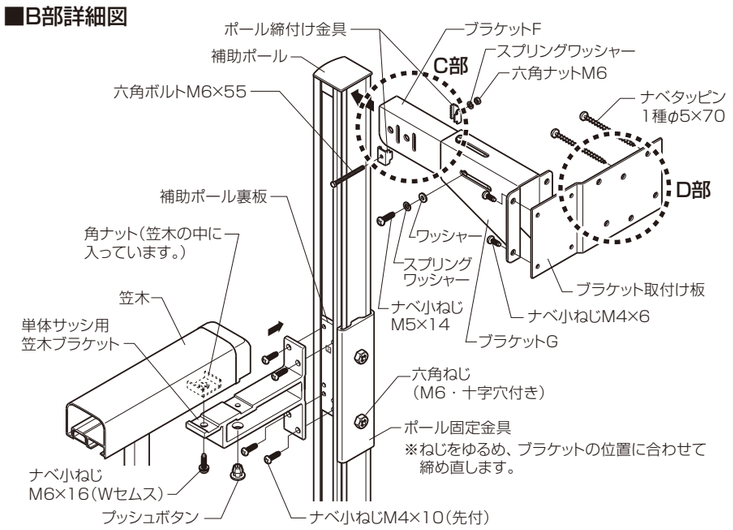
①ブラケットFおよびGを補助ポールに取付け、躯体にねじで固定します。(B部詳細図)
※ブラケットGが柱の位置に取付けられない場合は、ブラケット取付け板を使用してください。
※ブラケットFとポール締付け金具の固定位置を確認してください。(C部詳細図参照)

⚠警告

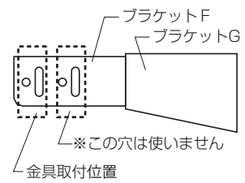
●ブラケット取付け板は、必ず柱等の躯体に取付けてください。外壁だけの取付けは、手すりが落下するおそれがあります。

●外付型連窓戸袋と半外付型連窓戸袋とでは、固定する穴の位置が異なります。
(D部詳細図)を参照してください。
②補助ポールにあらかじめ差し込んである裏板に、単体サッシ用笠木ブラケットを固定します。
③補助ポールに取付けた単体サッシ用笠木ブラケットに笠木を固定します。
④最後に笠木・桁をブラケットに本固定します。

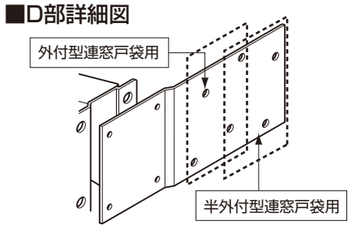
■B部詳細図



■C部詳細図



■D部詳細図



株式会社 LIXIL